



【重点教育目標】

確かな学びを通して、自分らしく豊かに生きる生徒の育成

「大きな好機を捉えて」

校長 橋本 智也

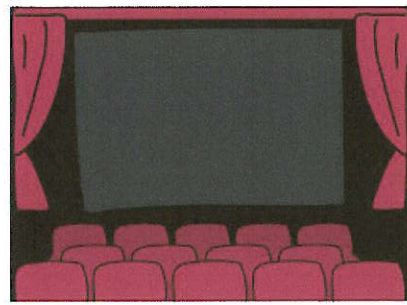
猛暑の夏が過ぎ、やっと北海道らしく過ごしやすい秋の季節となりました。

令和6年度の前半戦も1ヶ月足らずとなり、その集大成ともいえる「銭中祭Ⅱ(文化部門)」の準備も少しずつ熱を帯びてきています。合唱や楽器演奏の音色、運営委員会企画や学年発表の準備等の様子などから、学校全体の躍動感を肌で感じられるようになりました。

さて、学校祭や文化祭は、自分自身の成長の上で大きな飛躍となる機会でもあります。そして、自分自身の可能性をつかむチャンスにもなりますので、その瞬間をしっかりと捉えてほしいと思います。

ところで、著明な日本人の中で映画の字幕翻訳者といえば、戸田奈津子さんという名前を誰もが耳にしたことがあるかと思います。戸田さんの歩みや考え方は、皆さんの生き方や進路選択の参考になるものと思いましたが、ここで取り上げてみました。

戦後間もない東京で幼い日々を過ごした戸田さんは、小学生の時に華やかな洋画と出会い、カルチャーショックを受けました。戦後ですから、文化的にも美しいものにも飢えていた時代です。戸田さんはすぐに映画の魅力に引きつけられ、足しげく映画館に通うよう



になりました。なかでも高校時代に観た『第三の男』には心をつかまれ、気がつけば50回以上も鑑賞

していました。字幕を追ううちに、お気に入りの台詞を覚えるまでになり、ふと、「英語では何と言っているだろう」と気になった戸田さん。よく聞くと、字幕は直訳とは異なる粋な言い回しにしていることがわかり、「字幕というのは、台詞のエッセンスを上手に日本語に置き換える仕事なんだ。面白い！」と感動。このとき、漠然と「将来は、字幕翻訳の仕事がしたい」と思ったといいます。

その後、様々な仕事を経験しながら、20年後にやっと字幕翻訳者としてデビューを果たした戸田さんは、道なき道を切り拓き、その輝かしい地位を確立しました。苦難の連続だったことでしょう。しかし、「大好きな映画を多くの人に伝えたい」という思いが道を突き進むエネルギーになりました。「自分をきちんと知り、自分が何をしたいのかを知り、行くべき道を自分で決めること、…人の目なんて気にしない。」は戸田さんの言葉です。

銭中祭に向かう日々の取り組みや、11月までの実力テストを通して、「進む道」について熟考してみたいはいかがでしょうか。

9月行事予定

2日(月)	防災教室	22日(日)	秋分の日
5日(木)	ステージ設営 スクールカウンセラー来校	23日(月)	振替休日
11日(水)	3年実力Aテスト	27日(金)	銭中祭Ⅱ(文化祭)5時間授業 お弁当の日
16日(月)	敬老の日	30日(月)	前期終業式(全校集会) 前期通信表配布
18日(水)	専門委員会(放課後)		



クマ被害防止対策措置を継続します。引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。
お忙しい中、連日登下校の送迎にご協力いただき、誠にありがとうございます。

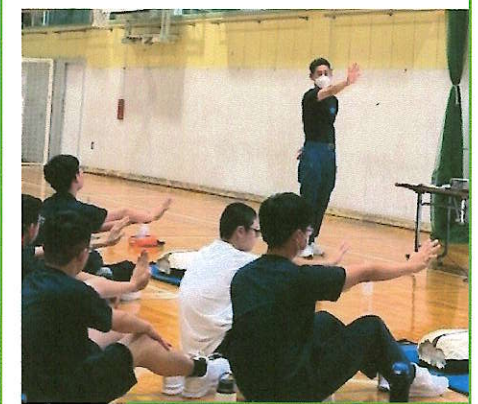
銭亀沢中学校では、函館市・警察等関係機関より引き続き「クマ被害防止対策措置の継続」が指示されましたので、生徒の安全確保のため登下校・および学校での見守りパトロール活動を進めてまいります。

また、函館市農林水産課等関係機関より安全が確認されましたら改めてご連絡いたします。

引き続き、クマ被害防止対策へのご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

防災教室【9月2日】を実施しました

テーマは「もしも目の前で人が倒れていたら・・・」(~心肺蘇生・AEDの使い方を学ぼう~)をテーマに、グループワークで「目の前で人が倒れた」場合を想定して、協力して行動するため、「共助」の精神の礎となる力を学びました。実践学習では通報の仕方や『心停止』と判断された傷病者に対する胸骨圧迫による心肺蘇生・AEDの使用について学びました。



銭中 HP
QRコードです
銭亀沢中学校の
新しい情報を
日々UPしています。